

市議会だより



わたしの一步が このまちをつくる うとみらいカレッジ

写真は、令和7年10月4日（土）、宇土市の女性が社会的視野を持ち、リーダーシップを発揮できるよう取り組む講座である第1回うとみらいカレッジの様子です。今後、第5回まで開催予定です。



主な内容

P2～6

P7～8

P8～P13

特集記事

令和7年9月定例会

一般質問

P14～P16

P17

P18

委員会報告

議案・陳情等の議決結果

編集後記



議会議画映像アーカイブ



宇土市の家事シェア最前線



特集：男女共同参画×4組の夫婦のカタチ

宇土市では「うとみらいカレッジ」など男女共に輝き暮らしやすいまちを目指すべく様々な取組が行われています。

宇土市議会でも女性の政治進出は喫緊の課題。今回は男女共同参画に着目し、4組のご夫婦取材しました。



◆河野 幸雄・秀子 夫妻(旭町)

「できる人が、できるときに」わが家流の家事
分担

結婚して60年。現在は息子さん夫婦とお孫さんとの三世代同居でにぎやかな日々を送っております。幸雄さんは89歳、秀子さんは81歳。今も元気に家庭や地域活動に取り組んでいます。

Q 家事はどんな分担ですか？

妻…夫は洗濯を20年以上続けています。草花の水やりや掃除も担当し、私が出かけるときはご飯を炊くこともあります。また、私は食事づくりを中心に、息子夫婦や孫の世話をしています。自然に「できる人が、できるときにやる」という分担になりました。

Q 男女共同参画を意識するようになったきっかけは？

二人…20年前、妻が農協の役員や市の男女共同参画会長を務め、県内外のフォーラムに参加しました。その間、夫が家事を担うようになり、「家事は女性の役目」という考えが変わりました。

Q 夫婦円満の秘訣は？

妻…喧嘩もありますが、「ありがとう」「ごめんね」を言葉にすることを大事にしています。夫…なかなか「ありがとう」と言えませんがいつも心ではありがと思うっています。妻…そんなことが聞けるなんて初めてです！

Q 最近の生活の工夫はありますか？

二人…夫婦でスマートフォンを使い、LINEで連絡を取り合っています。買い物や予定の確認もスムーズで助かっています。

Q 最後に、市民の皆さんへ一言お願いします

す。

二人…男女共同参画は特別なことではなく家庭の中で小さなことから始められると思います。家族みんなで支え合って暮らすことが大切です。

【感想】戦前育ちの幸雄さんからは激動の時代を生き抜いた勇ましさを感じ取れ、取材の流れで若く亡くなられたお兄様の話になると感極まられることも。普段は発せられないという幸雄さんからの「ありがとう」を聞くことができた秀子さんの笑顔が印象的でした。

◆中口 俊宏・フジ子 夫妻(松原町)

「妻の思うままに」で50年。これからは積極的な会話を心がけ

先日金婚を迎えられた中口夫妻。俊宏さんの元の職である警察官という職業柄ならではの身軽任や、多忙な議員活動ながらも最近ではお孫さんのクラブ活動応援がご夫婦のコミュニケーションの一つとなっております。

Q 結婚の経緯は？

妻…21歳で結婚しました。宇土市役所に勤務していました。夫の転勤を機に退職しました。当時は結婚退職が一般的で、特に抵抗はなく、専業主婦を選んだことに後悔はありません。



Q 俊宏さんの仕事柄大変だったのでは？

夫…警察官として、住居移動を伴う転勤が7回、単身赴任も6回、計6年間ほどしました。自炊は炊飯を小分け冷凍したり、惣菜をストックして工夫しました。妻…婦人会や敬老会、行政区の役員などに長年関わりました。夫の選挙の際は想定外の苦労もありましたが、地域と家庭をつなぐ役割を担ったと思います。

Q 現在の家事分担は？

夫…9対1でしょうか。ほとんど妻に任せていますが、風呂掃除と湯張りは毎日担当。庭の草刈りや神棚・仏壇の花の管理も私の役目です。最近は孫を見習って、食後の食器も流しへ運ぶようになりました。妻…自然に役割が分かれています。

Q 夫婦の会話や秘訣は？

妻…孫を通じて会話が増えました。主導権は私にあることが多いですが、それが心地よさにもつながっています。

Q 男女共同参画についての思いは？

夫…制度も大事ですが、日常の小さな会話や相互理解こそ本質だと思います。これから妻任せにせず、買い物も積極的に声掛けしようと思います。

【感想】家庭では寡黙を自認されている中口さ

ん。今回終始照れながらも素性を明かしてくれましたが、近くに住むお子さんやお孫さんの影響で円満の様子がフジ子さんの表情から伺えました。「積極的な声掛け」の実行を期待したいと思います。

◆杉本 寛・都 夫妻(本町一丁目)

「父親」になったのは3人目が産まれてから(現在3歳)。できる時にできるしこやっつけられればいい(都さん)



結婚20年以上経過した、3人のお子様を育てる40代ご夫婦。当初は「人として最悪だった」ご夫婦談「寛さんだったようですが、次第に改善。「妻9割」の家事育児ながらも関係は良好のよう

です。その秘訣に迫ります。

Q 家事分担の現状は？

二人…「9対1」で妻の負担が多い。夫はゴミ出し、洗濯物の一部、風呂掃除、洗車、夕方の子どもの世話など。

Q 結婚当初と比べて変化は？

夫…以前は全く何もしなかった(汗)。
妻…それを良しとしていませんでしたが3人目が生まれてから在宅時間が増え、「やっと父親になった」と実感しています。

Q 家庭と議員活動の両立については？

二人…特別なルールはなく、「職業を理由に家庭で役割を分けない」と意識しています。できるときにできることを担うという形です。

Q 少子化や子育ての課題は何でしょうか？

夫…男性の育児休暇取得が進んでいないと感じます。給与減や職場の同調圧力が壁になっているのでは。経営層の理解や制度運用の見直し、パパママ講習であったりフレックス制度導入などが必須だと思います。

Q これから家庭を築く市民へのメッセージは？

二人…大変なことほど分かち合うことが大事です。

すね。パパはママに優しく、育児は「手伝う」のではなく「自分ごと」として関わってほしいです。

【感想】どんなことがあっても「離婚は考えたことがない」という都さん。そこには寛さんの「自分より人のために行動」する尊敬の念があったようです。今では一緒に家事育児をするご夫婦ですが、そこにはお互いを尊敬し合う絆があるように感じました。

◆ 工士 哲平・紗登子 夫妻(走潟町)

お互い「120点」のご夫婦。極意は一緒に洗濯しながらの会話

3人のお子様を持つ30代一般家庭のご夫婦。地域食堂活用中に取材しましたが、常に「一緒にやる」感覚と会話が円満の秘訣のようです。

Q 子どもさんがまだ小さいですが日頃の育児の分担はどのように？

妻…夫が職場に近いので、保育園の送り迎えを基本的に担当しています。帰宅も夫の方が早いことが多く、夕方の準備をしてくれるのでとても助かっています。

Q 買い物はどうしていますか？

二人…基本的に妻が週末にまとめて行います。

夫の仕事に余裕があるときは、一緒に行くこともあります。

Q 他の家事は？

夫…妻が早く帰れたときは妻が、同じくらいの時間に帰宅したときは手分けして行っています。洗濯も一緒に行うことが多く、会話しながら進められるので、コミュニケーションの時間にもなっています。



Q 結婚当初から今のような分担で？

二人…いいえ。結婚してすぐに長男が生まれた頃は、互いに仕事で忙しく生活を回すだけで一杯でした。妻が産休に入ってからほとんど妻が担っていました。今では夫も積極的に参加しています。

Q 家事に協力的になったきっかけは？

夫…妻の復職が大きな転機でした。自分がやらなければという思いから積極的に関わるようになりました。

Q 「名もなき家事」については？

夫…ほとんど妻がやります。できる範囲で取り組んでいます。細かな部分には気づきにくいです。

Q 喧嘩はしますか？

二人…あまりしません。しても一晩寝ればどちらかが謝り、話し合って解決しますね。

Q お互いを点数で表すと？

二人…「120点!!」

Q 若い世代へのアドバイスは？

二人…できる方が補い合い、完璧を求めず感謝を伝えること。そして何より会話を大事にすることだと思います。

【感想】子育ての模範とも言えるご夫婦でした。

LINEで業務連絡はするものの、会話は必ず直接行う。食洗機や周囲にできるだけ頼れるものは頼り、家族時間を大切にしているというご夫婦。お互い「120点」には納得でした。

議員 座 談 会

・取材後に広報委員会メンバーにて振り返りました。

進行(今中)…今回4組のご夫婦の取材を通して、「会話」と「尊敬」そして「感謝の心」がキーワードだと感じました。これからの男女参画社会はその3要素が必要なんですね。

浦本…インタビューを通して自分のことをパートナーはよく思ってくれているのだと認識され、喜んでおられました。それぞれの生き様も見え、取材をやってよかったです。

進行(今中)…取材を受けた側としていかがですか？

中口…お互いコミュニケーションを取る必要があると感じました。「言わないでいてもわかっているだろう」と思っていたことでも、取材後は小さなことでも声掛けをするようになりました。進行(今中)…ぜひ他のみなさんのご意見も聞かせてください。

中野…色んなことが妻のおかげだと自分でもま

ざまざと認識しました。良い企画だと思いました。

西田…今は両親と一緒に暮らしていて家事はほとんど父と自分でやっています。買い物時にと会うと「買い物するなんて暇なんですか？」と言われる。男性が買い物をもそう思われなような意識になってほしいですね。

浦本…買い物は大事なのに残念ですね。

佐美三…いい取材、良い内容だったと思います。感謝の気持ちを普段口には出してませんが、声掛けは大切ですね。

園田…(夫婦2人暮らしで)自分のことはそれぞれ好きなようにやっていますが、調和は取れていると思っています。お互い自分の思うようにできるというのも大切なと思います。

進行(今中)…そこには信頼関係があるんですね。樫崎…私は100才の母と妻の三人での暮らし。できることを分け合い、助け合いながら穏やかな日々を重ねています。

土黒…男女共同参画は、互いを尊重し合う暮らし方だと改めて感じました。誰もが自分らしく生きられる社会について、これからも考えていきたいと思っています。

全員…今回の取組も非常によかったと思います。男女共同参画への理解を今後進めていきましょう。



令和7年 9月定例会

9月定例会を9月5日から9月24日まで、20日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、宇土市水道事業給水条例の一部改正など条例関係5件、令和7年度宇土市一般会計補正予算など予算関係7件、決算関係8件、人事案件2件、専決処分の報告及び承認1件、議員提出議案として少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書など2件が上程されました。

このうち、水道事業会計決算及び下水道事業会計決算を除く決算関係の6議案については、決算審査特別委員会を設置、付託し、次期定例会（12月議会）までの間、閉会中の継続審査としました。

その他の議案については、いずれも原案のとおり決定しました。

議案の主な内容は下記のとおりです。なお、各委員会での審査内容は、14～15ページに、議決結果は17ページに記載しています。

[変更前]

(単位：円)

口径 (mm)	基本料金		従量料金 (1㎡あたり)			
	6㎡以下		7㎡以上30㎡以下		31㎡以上	
料金体系	A	B	A	B	A	B
16以下～75以下の6種類	1,200～2,700		160	110	190	120
100以下	3,200					
100超	4,700					

↓

[変更後] 令和8年4月～令和10年3月分

※料金体系Bは激変緩和措置を設ける。

(単位：円)

口径 (mm)	基本料金	従量料金 (1㎡あたり)					
	6㎡以下	7㎡以上30㎡以下		31㎡以上50㎡以下		51㎡以上	
料金体系	A・B	A	B	A	B	A	B
16以下～75以下の6種類	1,300～6,000	210	170	230	190	250	210
100以下	8,100						
100超	12,100						

↓

[変更後] 令和10年4月分～

※料金体系AとBを統合

(単位：円)

口径 (mm)	基本料金	従量料金 (1㎡あたり)		
	6㎡以下	7㎡以上30㎡以下	31㎡以上50㎡以下	51㎡以上
16以下	1,300	210	230	250
20以下	1,600			
25以下	2,000			
40以下	3,200			
50以下	4,000			
75以下	6,000			
100以下	8,100			
100超	12,100			

条 例

◆宇土市水道事業給水条例の一部改正

水道料金を改定し、安定的な水道事業運営の維持を図るため、条例を改正するもの。

・【主な内容】
・一般用水道料金の変更

※料金体系A：給水区域から料金体系Bの区域を除く区域
※料金体系B：神合町の一部、野鶴町の一部、笹原町、城塚町の一部、網津町、住吉町、下網田町の一部、戸口町及び赤瀬町の一部の区域
【施行日】 令和8年4月1日

◆宇土市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

国の子育てと仕事に関する両立支援制度の拡充に伴い、本市職員の勤務環境を整備するため、条例を改正するもの。

【主な内容】

・出生時及び育児期においても、対象者に対し、育児休業制度や仕事との両立に関する個別説明及び意向確認等の措置について規定を追加

【施行日】 令和7年10月1日ほか

◆宇土市下水道条例等の一部改正

災害その他非常の場合において、他の市町村長等の指定を受けた事業者等が工事を行うことができるようにするため、条例を改正するもの。

【関係条例】

- ・第1条改正 宇土市下水道条例
- ・第2条改正 宇土市水道事業給水条例
- ・第3条改正 宇土市漁業集落排水施設条例

【主な内容】

・災害その他非常の場合において、他の市町村長等の指定を受けた事業者等が工事を行うことができる規定を追加
【施行日】 公布の日

予 算

◆令和7年度宇土市一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ3,100万円増額し、総額を240億4,777万4千円とする。主なものは、令和7年8月大雨営農再開支援事業の増額補正

人 事

◆宇土市監査委員の選任(任期4年)

山下 隆雄 さん (新任)

・令和7年9月25日から令和11年9月24日まで

◆宇土市教育委員会の委員の任命(任期4年)

岳元 さよ子 さん (再任)

・令和7年10月1日から令和11年9月30日まで

◆令和7年度宇土市一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ5億5,643万1千円を増額し、総額を240億1,677万4千円とする。【単位：千円】

費目 (歳出概要)	補正額	補正額の財源内訳		歳出の主なもの ()内は補正額 ▲は減額補正
		特定財源	一般財源	
議会費	▲462		▲462	職員給(▲462)
総務費	24,380	17,025	7,355	熊本県物価高騰対応生活者支援事業〔LPガス使用世帯支援〕〔R7国予備費分〕(21,890)、空き家バンク活用事業(16,000)
民生費	200,981	11,071	189,910	不足額給付金支給事業(57,706)、放課後児童クラブ利用促進実証事業(798)
衛生費	2,074	188	1,886	地域医療体制構築事業(156)
農林水産業費	28,022	24,707	3,315	新規就農者育成総合対策事業(23,564)
商工費	▲2,517		▲2,517	職員給(▲3,482)、外国人観光客誘客強化事業(965)
土木費	46,734	5,100	41,634	道路維持 一般経費(20,000)
消防費	15,041	14,600	441	防火水槽整備事業(14,583)
教育費	240,624	293,466	▲52,842	屋内運動場空調設備整備事業〔小学校〕(198,296) 社会体育施設整備事業(49,828)
災害復旧費	1,554		1,554	令和7年梅雨前線豪雨災害対策経費〔土木課分・道路〕(1,554)
公債費	0	6,629	▲6,629	
合計	556,431	372,786	183,645	

令和7年9月宇土市議会定例会 一般質問一覧表



【一般質問】

発言順	氏名	質問事項(大項目)	掲載ページ
1	檜崎 政治	(1) 福祉・要介護認定について (2) 地域人材確保とボランティア制度について (3) 大雨災害対応について	9
2	宮原 雄一	(1) 緑川地区高齢者対策について (2) 本市の排水機場について	9
3	西田 和徳	(1) 住吉海岸公園周辺の活性化について	10
4	今中 真之助	(1) 発達障害の診断と保育について (2) 自治体DXについて (3) 宇土高校の存続について	10
5	浦本 晴美	(1) 持続可能な水利用、自然に負担をかけない暮らしについて (2) 観光客増に伴う宿泊施設の現状と課題認識について (3) 子どもサードプレイス計画の進捗状況について	11
6	中野 洋一	(1) 全国で相次ぐ学校内における盗撮等の犯罪防止について (2) 大規模災害時の通信手段の確保について (3) 好適環境水による陸上養殖への取組で宇土市の更なる魅力づくりについて (4) 本市公園の一元管理について	11
7	土黒 功司	(1) 8月10日豪雨を踏まえた宇土市の被害検証・災害廃棄物対応・情報伝達体制強化と今後の防災方針 (2) 本市の子どもたちの食を守る学校給食と給食センターの今後について	12
8	福田 慧一	(1) マイナ保険証問題について (2) 被爆80年に当たって (3) 生活保護費削減問題について (4) TSMCの半導体工場で使用する有機フッ素化合物の排水の影響について	12
9	藤井 慶峰	(1) 子育て支援策の充実強化について (2) 九州産交バスの松橋・宇土を起終点とする熊本市内方面行き直通系統の廃止について	13
10	中口 俊宏	(1) 大坪川の治水対策について (2) 学校の教育環境整備について	13

※上記質問事項については、一部記事として掲載されない場合もあります。

※上記QRコードから、定例会の録画映像を視聴できます。

ボランティア登録制度による市民参加促進と介護支援



無所属 檜崎 政治 議員



要介護認定

問 要介護認定の変動（要介護2⇄要支援2）が繰り返された事例について、市の認識と制度運用上の課題は。

答 調査時に介護者が状況を伝えきれなかったと認識。本人、介護者に配慮した聴取や研修による調査員の資質向上に努める。厚労省の一次判定ソフト見直しも課題として注視する。（健康福祉部長）

要望 介護認定の根拠を示し、市民が安心して納得できる制度に。

認定調査時の立会体制

問 家族・ケアマネジャー等も調査に同席できる仕組みについて。

答 調査は本人に加え家族等の同席を原則とし、同席不可時はケア関係者に確認し実態把握に努めている。（健康福祉部長）

要望 認定調査の事前周知と聴取の充実を。

地域人材確保とボランティア制度

問 介護現場等における

専門職の負担軽減を図る上で、業務の一部をボランティアが担うなど、市民の得意分野を活かした仕組みづくりができないか。

答 介護現場の負担軽減や人材確保のため、先進事例を参考に調査研究する。（健康福祉部長）

要望 介護ボランティア制度の早期実現と市民参加の地域共生を強く期待する。

大雨災害対策

問 今後の浸水対策は。

答 国は堤防整備、県は潤川や松原排水機場整備、市は河川改修や排水機場ポンプ増設等を実施中。さらに河川カメラによる情報提供を行っている。（市長）



花園台の再度崩落した通学路 本年度までに復旧を

緑川地区の高齢者の利便性向上のために



六政会 宮原 雄一 議員



問 地域住民の利便性のため、住民票の写しや印鑑証明書、戸籍謄抄本などの交付業務を緑川郵便局に委託できないか。

答 「地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱に関する法律」では、郵便局において住民票の写し等の請求の受付及び引渡しの手務を取り扱うための指定手続等が定められており、制度的には可能である。

直近では、宇城市が本年4月から松合出張所を閉鎖するために、また、同様に、天草市では令和6年10月から22か所の出張所を廃止し、窓口業務を委託されている。

一方で、コンビニ等に設置され、住民票等が取得できるキオスク端末の普及や、郵便局に委託したものの利用実績が少ないことにより、委託を終了している自治体もある。緑川地区にはコンビニがないこと、また、

◎緑川地区 人口推移

(各年3月末現在、単位：人)

	R3	R4	R5	R6	R7
男	1,034	1,007	981	968	944
女	1,080	1,055	1,047	1,024	1,006
計	2,114	2,062	2,028	1,992	1,950

◎緑川地区 65歳以上の人口比率

(令和7年3月末現在、単位：人・%)

緑川地区の総人口	男	女	合計	割合
1,950	363	461	824	42.3

◎緑川地区 65歳以上のみの世帯数

(令和7年3月末現在、単位：世帯・%)

緑川地区総世帯数	65歳以上のみの世帯数	割合
905	384	42.4

端末操作に不慣れな高齢者の方などにとっては、対面での対応が安心する方がおられると思うが、平日、日中のみの営業である郵便局と比較すれば、休日や夜間にも利用できるコンビニ交付の方が利便性が高いという視点もある。さらに、制度の導入に際しては、全額一般財源を投じることになるため、費用対効果を見極める必要があり、実施に当たっては大きなハードルがあると考えられる。（市民環境部長）

住吉海岸公園周辺の活性化について



宇土市政研「志」 西田 和徳 議員



問 住吉海岸公園整備事業の進捗状況と今後の取組は。

答 進捗状況は、令和4年度に駐車場の暫定的な拡張工事と長部田海床路入口に多言語案内板を設置。令和5年度は、暫定的に拡張した駐車場の舗装や照明の増設、既設トイレやジンベエ像周辺の舗装を行った。令和6年度は、既設駐車場及び西側部分駐車場拡張整備と併せて歩道帯整備を行い、駐車場全体の一体的整備が完了し、今年度は、連休など1日当たり約2千人が来園した日もあった。今後の取組は、今年度中に分煙施設の設置を予定。さらに、老朽化の進むトイレ、東屋等の施設更新検討の必要性を感じている。

問 観光客誘致の強化及び地域活性化のために住吉海岸公園に新駅を設置できないか。

答 現状で新駅設



公園トイレと東屋付近

置となると、地元自治体や住民が開発整備費を負担し、JR九州へ設置を願う請願駅になり、いくつか条件があると聞いているが、開設費用の予算確保の点と、住吉駅から公園まで約1.5kmで、駅間距離が短い点が大きなネックと考えられる。今後、相当規模の宿泊施設等の誘致などで、大幅な利用者数増加が見込めれば、検討の余地が広がるのではないかと思う。

要望 地域活性化のためには、近い将来住吉海岸公園前に新駅を。

(市長)

本市唯一である宇土高校をもっと魅力ある高校へ！



宇土市政研「志」 今中 真之助 議員



発達障がい診断と保育

問 発達障がいのある子どもが診断の有無で支援が途切れないよう、学校や関係者の所見や検査結果をもとに柔軟に対応する仕組みを構築すべきと考えますが、見解は。

答 本市では医師の診断書は必須ではないが、確かに仕組みの構築は重要と考える。ただ、医師の診断の重要性も鑑み、その際は十分な検証が必要である。今後も関係機関と連携し、切れ目ない発達支援体制の充実を図る。

(市長・健康福祉部長)

宇土高校の存続

問 本市唯一の高校、宇土高校の定員割れに対する現状認識は。

答 令和元年度以降倍率が低迷し、今年度は0.66になった。少子化や市外への流出が要因であり、市としては魅力発信など、存続と発展に向けた支援を進める。

(企画財政部長)

問 宇土高校では探究活動や特色ある取組を進めているが、本市のこれまでの連携・支援は。

答 探究活動に資する取組紹介やデータ提供、宇土市長賞表彰などを実施した。今後は地域との橋渡しを強化し、より実践的な支援を行う。

(企画財政部長)

問 高校の存続は本市のまちづくりなどに直結すると考えるが、今後への思いを含めて市長の見解は。

答 現状に大きな危機感を持ち、県に私立高校の在り方も含めた議論を要望した。今後、校長と意見交換し、何ができるかを共に考えたい。(市長)



全国でも屈指の取組をしている宇土高校

自然との共生、宇土の未来は私たちの手に



会派「風」 浦本 晴美 議員



次世代につながる持続可能な水利用について

問 河川や海の浄化を目的とした具体的な事業計画や今後の展望は。

答 環境問題は、行政、市民、事業者及び民間団体と協働で進めていくことが重要である。子どもたちには、環境問題を自分たちの問題として捉えてもらい、地域全体でより良い環境・地域を作り上げる意識も重要になってくる。生活排水や河川の水質改善を図ることは、有明海再生にとっても非常に重要な事項であり、今後も合併処理浄化槽への転換推進や市民共同での清掃活動を実施していく。

提言 環境教育は、家庭や学校任せにせず、企業等との連携を通じた実践的な学習を。生活排水を一度見つめ直すことも重要である。



生活排水等の汚濁物質や河川に捨てられるごみは有明海へ流れ込む

こどもサードプレイス計画の進捗状況

問 建物の完成時期及び建設予定地の水害対策は。

答 来年9月の開所を目指し準備を進めている。子どもたちが安心して過ごせる空間づくりを第一に考えている。河川の護岸かさ上げを含めた改修、県による松原排水機場の能力アップのほか想定を超えるような水害を考慮し、可能な限り基礎地盤を上げることを検討する。

(教育部長)

要望 運営方法や施設ならではの価値を検討し、子どもが集う場として最善の対策を。

子どもたちの安全と地域活性化が輝く宇土市をつくる



公明党 中野 洋一 議員



全国で多発する教員による盗撮等の犯罪防止を

問 安心・安全であるはずの学校内で教員がその立場を悪用し、子どもたちを性的対象とした卑劣な事件が起きている。教育長として、一人の教育者として児童生徒への教員の犯罪行為について見解は。

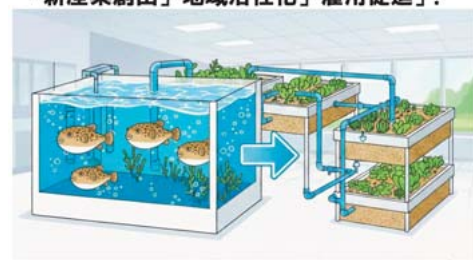
答 決してあってはならないことで極めて遺憾であり、深刻かつ重大な問題であると認識している。児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、犯罪防止に向けた実効的な対策及び不測の事態が発生した場合の迅速・適正な対応に全力で取り組む。保護者や地域の皆様との信頼関係の構築に努め、子どもたちが安心して学べる教育環境の実現に尽力する。

(教育長)

陸上養殖への取組で本市の更なる魅力づくりを

問 好適環境水での魚の養殖は、成長が早く、病気のリスクが抑えられ、

好適環境水で高級魚の陸上養殖と新しい農業「新産業創出」「地域活性化」「雇用促進」!



好適環境水による陸上養殖と水耕栽培のイメージ図

場所を問わない。養殖できる魚種はクロマグロやヒラメなど市場価値の高い高級魚である。地域活性化やふるさと納税返礼品として開発に寄与できると思う。好適環境水による陸上養殖に前向きな企業を誘致しては。

(市長)

子どもたちの食を守る給食センター建替えの 早期検討を!



会派「風」 土黒 功司 議員



学校給食費と給食センターの今後

問 来年度以降の給食費用と負担の考えは。

答 今年度の食料費は1食約312円で、昨年度より約23円増加。来年度も上昇が見込まれ、上昇分は原則保護者負担を考えている。(教育部長)

問 地元食料の活用、食育に対する取組は。

答 昨年度の地元産使用率は9・8%。目標値は未設定だが、可能な限り引上げに取り組む。また、地産地消を目的とした宇土産食料の啓発、食育に係る収穫体験等の機会を増やしていきたいと考える。(教育部長)

問 給食センターの老朽化・調理制限・災害時の機能について。

答 施設は老朽化が進み、修繕費は増加傾向である。設備の関係で夏季は揚げ物調理を制限、また衛生・アレルギー対応に将来的な課題がある。非常用電源等も



様々な設備の劣化が進んでいる

なく、災害時の食事提供拠点としての機能は備えていない。(教育部長)

問 給食センターの建替え方針は。

答 現時点で建替え計画はないが、老朽化が進んでおり検討を始める時期が来ている。新設には土地を取得した上で、多面的な視点が必要となる。財源は、補助金等の有利な財源を調査・研究していく。将来的な運用は各学校の位置的条件や地産地消の対応等を考慮するとセンター集中方式が効率的であり、さらに新施設には炊飯機能の付加が必要と考える。(市長)

被爆80年、核廃絶を



日本共産党 福田 慧一 議員



問 被爆80年に当たり、政府に核兵器禁止条約に参加するよう求め、庁舎前に非核平和都市宣言の看板又は垂れ幕を掲示すべきではないか。

答 本市では昭和60年3月に、市議会と連名で「平和都市宣言」を行い、恒久平和と非核三原則の遵守を市民と共に希求することを掲げている。核兵器廃絶は世界平和の実現のため、重要な課題であると認識しているが、核兵器禁止条約の批准も含め、社会全体が協力して取り組むべき課題であり、1つの自治体だけで実現できるものではない。本市としては、平和都市宣言の趣旨を踏まえ、市民の皆様と共にできることから着実に取り組み、平和の大切さを次世代に継承することが重要と考える。

平和都市宣言の周知について



平和都市宣言の垂れ幕が掲示された

は、新庁舎建設後、庁舎1階にてデジタルサイネージによる表示を行っている。今年度からはそれに加え、熊本地震前に設置していた看板に代わり、懸垂幕を設置した。より多くの市民の皆様の目に触れるよう、懸垂幕をできる限り常時設置し、周知に努めていく。(市長)

子育て支援充実と産交バス運行中止に伴う 交通手段の確保



無所属 藤井 慶峰 議員



問 子どものインフルエンザ予防接種助成金と子育て支援策について。

答 助成対象者は、生後6か月～中学生以下で、原則1回目のみ、1人1900円を助成する。子育て支援策は、産後ケア事業や新生児聴覚検査の費用助成事業等を行っており、特に不妊・不育症治療や産婦健診、1か月児健診、低所得妊婦初回産科受診費の費用助成など他市で未実施の部分にも力を入れている。

要望 隣市の助成金は本市より2700円多い。助成金の有無や金額等、子育て支援の内容は、比較して市民が住まいを考えるとときの基準にもなるため、子育て支援策の再検討をお願いする。

問 10月以降松橋から熊本市内への直通バスが廃止される。公共交通について、宇土駅―



廃止された松橋～熊本間の産交バス

三角間の路線バスの将来的な運行、スクールバスなどの検討も含め、抜本的な見直しが必要と考えらる。

早急に対応し、抜本的な見直しについては最善策を検討してほしいが。

答 「行長ちゃん号」やミニバス「のんなっせ」の運行ルート等について、地域住民の皆様の要望を踏まえた見直しなどを検討し、可能な限り、九州産交バスの系統廃止に伴う代替手段の確保に努めていく。短期的対応と並行して、抜本的な公共交通の在り方についても最善策を検討していく。

(市長)

宇土地区の治水対策について



無所属 中口 俊宏 議員



大坪川の治水対策事業について

問 治水対策は、市民の生命、財産を守る重要な事業である。松原排水機場の稼働が令和8年から1年ほど遅れることになった。また、大坪川左岸は宇土東小学校児童の通学路である。大坪川改修の今後の取組について。

答 本事業は昭和50年度に着手し、段階的に護岸整備している。今後の取組として、大坪川右岸に設置している木柵の腐食が著しいことから元の大坪川への流れを締め切り、併せて、湾曲したパイパス外側の河岸を強化する護岸整備を進める。

また、管理用道路は、宇土東小学校の通学路となっていることから、工事期間中も安全な通行を確保し、工事完了後も適切に維持管理していきたいと考えている。

(建設部長)

問 大坪川下流にあ



大坪川の工事の進捗状況

る馬之瀬堰の保存対策について。

答 大坪川のパイパス整備により、馬之瀬堰が位置する元の大坪川の水量は大幅に低下する見込みである。馬之瀬堰に起因する氾濫の危険性が解消されることから、堰の撤去は行わず、現地で保存活用を図る。文化財指定を見据え、指定に必要な文献調査や、堰そのものの三次元測量等、各種調査を進める。併せて、河川管理者の土木課と協議し、堰周辺の除草や清掃等を定期的に行い、環境美化に努める。

(教育部長)

令和7年11月1日

総務市民常任委員会

総務部・企画財政部・市民環境部

行政委員会などを所管

委員長 中口 俊宏
副委員長 浦本 晴美
委員 山村 保夫 藤井 慶峰
野口 修一 柴田 正樹

《議案関連》

令和7年度宇土市一般会計補正予算(第3号)

問 緊急地下水調査委託料について、昨年度、松山最終処分場から有機フッ素化合物が検出されたことを受け、3か所調査を行ったとのことだが、その際問題はなかったのか。

答 昨年度、市独自で調査を行ったが、特段問題のある物質は検出されなかった。

問 今年度も経過観察として調査を行うとのことだが、いつ頃実施予定か。

答 本定例会に上程した予算の可決後、11月に実施予定である。

(委員から意見) 調査を行うだけでなく、自分が有機フッ素化合物を生活の中で排出しているかもしれないという、意識付けや周知を市民に対して行ってほしい。

問 空き家バンクについて、現在、空き家バンクの登録が増えており、売買・賃貸物件合わせて28件の登録があるとのことだが、登録や売買が増えている理由は。

答 地域おこし協力隊の発案により、市のホームページを見直し、移住定住の専用のサイトを新たに設けたこと。また、民間のサイトでも空き家物件の情報提供を

積極的に行うようにしたこと。さらに、空き家の取得補助金の新設が要因と考えられている。

(委員から意見) 空き家を活用した民泊の可能性を調査してほしい。



定住移住に関する宇土市ホームページ

問 防火水槽整備事業について、今回予算上程されているが、来年度以降、防火水槽の整備予定はあるか。

答 正式な申し出ではないが、1件、地元から御相談をいただいているところがある。

(委員から意見) 防火水槽という、地域の安全安心につながる施設であるため、必要があるものはできる限り早急に予算化・整備を行ってほしい。

経済建設常任委員会

経済部・建設部・農業委員会を所管

委員長 佐美三 洋
副委員長 土黒 功司
委員 福田 慧一 村田 宣雄
西田 和徳 中野 洋一

《議案関連》

宇土市水道事業給水条例の一部改正

問 水道料金の収納率について、令和4年度以降は、90%程度で推移しているが、令和3年度までと比べ大幅に下がっているのはなぜか。

答 水道事業は企業会計であるため、一般会計のような翌年度5月までの出納閉鎖期間がない。このような中、令和3年度までは、実際4月に納入される3月分使用料の口座振替分についても、現年度に加算して収納率を算出していたが、令和4年度からは他の自治体と同様に、3月の口座振替分を加算しないで算出することとしたため、収納率が下がっている。ただし、3月の口座振替分は過年度の収入として処理しているため、使用料としての全体の収納率は下がっていない。

(委員から意見) 計上の仕方を変えたのであれば、正確に説明してもらわないと収納率が急に落ちたと疑問を持つことになる。

令和7年度宇土市一般会計補正予算(第3号)

問 干潟景勝地展望広場整備事業について、事業完了後、経済効果につなげるた

め、どのような構想を持っているのか。
答 住吉海岸公園のキッチンカー出店制度等を参考に、地元の実業家の収益向上につながるよう検討したい。

(委員から意見) せっかくなので、長部田海床路との観光コースを作るなどしてどうか。



干潟景勝地展望広場整備事業の工事の様子

《議案以外》

観光農園開園支援事業について

問 事業の推進状況は。

答 今年度、市の農業後継者協議会と認定農業者協議会の研修において、久留米市の観光農園に視察に行くこととしている。この研修に参加した農業者が観光農園を開園し、取組が広がっていくことを期待している。

文教厚生常任委員会

健康福祉部・教育委員会を所管

委員長 園田 茂
副委員長 杉本 寛
委員 榎崎 政治 宮原 雄一
今中 真之助 小崎 憲一

《議案関連》

令和7年度宇土市一般会計補正予算(第3号)

問 学校体育館の空調を整備する屋内運動場空調設備整備事業について、今後の整備計画と優先順位は。

答 今後、年次計画を策定し、1年に2校程度を予定している。また、避難所としての開設回数が多い地区や、地区の指定避難所において空調設備が未設置の地区の学校を優先する。

問 災害などで電気が止まった場合でも稼働できるように、今回はガスを動力源とする空調設備を導入することだが、今後の方針は。

答 引き続き同じガスタイプの導入を考えているが、費用対効果を考慮して検討する。

問 設置する空調設備の冷却能力はどの程度か。

答 市民体育館の空調設備と同程度を想定している。

問 運動公園内防犯カメラ設置委託について、防犯機能を強化するため、防犯カメラの設置と併せて、周囲コース外側に生い茂る樹木を剪定できないか。

答 樹木がかなり成長しており簡単に行うことはできないため、専門業者に依頼することも含めて検討する。

(委員から意見) 来年整備される船場川周回コースにおいても、防犯カメラや照明を設置するなど安全面に考慮してほしい。

《議案以外》

市民プールの利用状況について

問 市民プールの利用状況はいかがか。

答 コロナ禍やウォータースライダーを撤去したこと、さらに近年の猛暑もあり、年々、利用者は減少している。

(委員から意見) スケートパークへの改修など、別の用途としての利用も含めて、今後の市民プールのあり方を検討してほしい。



宇土市民プール

市内産科医院の経営維持のための取組について

問 市内唯一の産科医院が、一時期、休診されていたが、定期的な意見交換は行っているか。

答 定期的ではないが、検診の際などに必要に応じて行っている。休診された際も情報共有していた。

(委員から意見) 「こどもどまんなか」を

謳う本市において、産科医院の経営を維持できない状態に陥ることは問題があると感じる。市内医院を利用しやすくなるような、何らかの支援の検討が必要だと思う。

地域高規格道路促進等対策特別委員会

委員長 宮原 雄一
副委員長 小崎 憲一
委員 村田 宣雄 野口 修一
西田 和徳 今中 真之助
佐美三 洋 浦本 晴美
土黒 功司

《執行部からの説明》

熊本宇土道路、宇土道路、宇土三角道路における予算配分、用地進捗率、事業進捗率は、前回の報告から変更はあっていない。

宇土道路

【令和6年度繰越事業・調査設計】

・ 令和6年度宇土道路裁決申請図書作成等業務(工期延長)

【令和6年度繰越事業・工事】

・ 熊本57号長浜地区改良3期工事(工期延長)

【令和6年度繰越事業・J-R委託工事】

・ 三角線緑川・住吉間5K620付近跨線橋新設工事(工期延長)

【令和7年度事業・工事】(6件とも入札公告)

・ 熊本57号長浜地区改良5期工事

・ 長浜地区の盛土及び地盤改良工事

・ 熊本57号網津地区4号函渠2期工事

◆ 網津地区の函渠工事

・ 熊本57号城塚地区改良26期工事

◆ 城塚地区の地盤改良

・ 熊本57号平原橋下部工(P3)工事

◆ 平原橋の下部工工事

・ 熊本57号網津地区改良3期工事

◆ 網津地区の盛土及び地盤改良工事

宇土三角道路

【令和7年度事業・調査設計】

・ 令和7年度 熊本天草幹線道路地質調査(その6、その8)業務(契約締結)

・ 令和7年度 熊本天草幹線道路水文調査地質解析業務(契約締結)

・ 令和7年度 熊本天草幹線道路地質調査(その9)業務(入札公告)

◆ 道路設計等を行うための基礎資料として地質調査を行うもの

《主な質疑》

(前回委員会の質疑等) 高規格道路の工事で地下水に影響が出た場合の補償も要望していく必要があるのではないか。

答 国土交通省に確認し、高規格道路の工事の影響だと判断されるものについては補償対象となるが、補償は一度しかできないので当該箇所の全ての工事が終わってからとなる。ただ、工事期間中に地下水に何か影響が出た場合はすぐに個別に対応することとしていると回答があった。

(今回委員会の質疑等) 工事現場付近で、忙しい朝の通勤時間に、工事車両を優先して通す交通誘導員がいた。その場で改善は申し出たが、工事に協力する地元のため、もう少し配慮ができないか。

答 国土交通省にその旨しっかりと伝える。

(委員から意見) 工事を実施する事業所は、入札等により毎年変わる。その都度手間を取らせるが、周知を徹底してほしい。

議会改革特別委員会

委員長 藤井 慶峰
副委員長 榎崎 政治
委員 福田 慧一 山村 保夫
中口 俊宏 今中 真之助
佐美三 洋 浦本 晴美
杉本 寛

《本委員会について》

令和6年12月定例会において、9人の委員で設置され、本委員会の前身となる議会改革検討会の目的を引き継ぎ、「議員定数」、「議員報酬」、「費用弁償」、「選挙運動費用に対する公費負担」及び「女性議員が増えるための取組」といった五つのテーマを主とする議会改革に関する事項について、適正な判断を行うため、さらなる調査・研究に取り組む。

第5回委員会

・選挙運動費用に対する公費負担及び費用弁償についてをテーマとし、協議

【選挙運動費用に対する公費負担の導入】

・市長及び選挙管理委員会に要望するとの結論に至ったが、公費負担となった場合の申請手続の流れや、その対象となる費用等について、選挙管理委員会事務局から説明を受け、引き続き要望内容について協議

(委員から意見) 具体的な内容は提示せず、他市町村を参考に執行部や選挙管理委員会でも検討してもらった方がよい。
(委員から意見) 丸投げするのではなく、こちらの希望を示した方がよい。

協議結果 要望するに当たり、具体的

な要望内容を提示しない。

【費用弁償】

(委員から意見) 平成28年に廃止したものを、また復活させるというのは許されないのではないか。

(委員から意見) 実費相当の費用弁償に関しては検討の余地がある。

協議結果 費用弁償の支給についての要望は行わない。

第6回委員会

【女性議員が増えるための取組】

(委員から意見) 議会主導で女性議会を開催する等、候補者となるような人たちを育てていく取組が必要ではないか。

(委員から意見) 一人一人の意識を変える必要がある。

(委員から意見) 男女平等の観点から、女性のみを優遇するような仕組みをつくる必要はない。

◆本テーマは、継続審査と決定

【新たな協議テーマの追加】

・議会運営委員会から、二つの協議テーマの提案があったため、追加することに決定

◆委員長の報酬の引き上げ等の検討
◆予算委員会の設置についての検討

交通問題対策議員連盟
全国交通安全運動・
街頭キャンペーン

秋の全国交通安全運動(9月21日～9月30日)に伴い、「交通事故死ゼロを目指す日」の9月30日(火)に、宇土市役所前で街頭キャンペーンが行われました。

市議会の交通問題対策議員連盟も街頭キャンペーンに参加し、道行くドライバーに交通安全を呼びかけました。



【交通問題対策議員連盟】

中口 俊宏/西田 和徳/杉本 寛/藤井 慶峰
野口 修一/園田 茂/今中 真之助/小崎 憲一
佐美三 洋

有志の会
市長へ要望書を提出

9月24日(水)に、有志議員でつくる宇土市政治・政策研究会「有志の会」の議員が、市長へ要望書を提出しました。

この要望書は、宇土市における路線バス大幅減便に伴う交通手段の確保に関する取組を求めるものです。



【宇土市政治・政策研究会「有志の会」】

中口 俊宏/野口 修一/西田 和徳/藤井 慶峰
園田 茂/今中 真之助/小崎 憲一/佐美三 洋
杉本 寛

令和7年9月宇土市議会定例会議決結果一覧（9月24日議決）

賛否のわかれた議案等

提出者	件名		会派名 議員名	議決結果	表決数 賛成－反対	六公会 宇土市政研〔志〕 風																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
						宮原雄一	山村保夫	杉本寛	今中真之助	西田和徳	土黒功司	浦本晴美	中野洋一	佐美三洋	小崎憲一	園田茂	柴田正樹	檜崎政治	野口修一	中口俊宏	藤井慶峰	村田宣雄	福田慧一																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
市長	第65号	令和6年度宇土市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	16-0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※○＝賛成又は採択、●＝反対又は不採択、欠＝欠席、退＝退席、除＝除斥

※議長職の野口修一議員は、可否同数の場合のみ裁決するため、「－」と表示しています。

報告

報告番号	件名
第10号	令和6年度宇土市財政の健全化判断比率について
第11号	令和6年度宇土市水道事業資金不足比率について
第12号	令和6年度宇土市下水道事業資金不足比率について
第13号	令和6年度宇土市一般会計継続費精算報告について
第14号	専決処分の報告について 専決第11号 損害賠償額の決定について

「決算審査特別委員会」を設置（R7.9.24）

○決算審査特別委員会

委員長	副委員長	委 員			
榎崎 政治	杉本 寛	浦本 晴美 中口 俊宏	小崎 憲一 山村 保夫	西田 和徳 福田 慧一	宮原 雄一

＜決算審査特別委員会とは＞

歳入歳出予算執行の実績である決算の案件を審査するために設置される委員会のことをいいます。議会が決定した予算が適正に執行されたか、見込んだとおりの行政効果を達成することができたかを審査し、その結果は翌年度以降の予算編成や行政執行に生かされます。



学校給食センター視察及び試食会報告（文教厚生常任委員会）

令和7年9月17日、文教厚生常任委員会委員が宇土市学校給食センターの視察及び学校給食の試食を行いました。学校給食は、子どもたちにとって身近なものとして、委員会でも特に関心が高いテーマの一つです。

視察では、給食を調理している様子を見学し、栄養教諭から給食の献立や栄養バランス、衛生管理などについて詳しく説明を受けました。さらに、センター長から施設の概要や安全対策についての説明を受け、日々の運営の工夫を伺えました。その後、出来立ての給食を試食し、子どもたちに提供されている食事のおいしさや安全性を改めて実感する機会となりました。今後も子どもたちの健やかな成長を支える給食の充実に努めてまいります。

毎日の学校給食が画像で紹介されています。



〔給食試食会参加者〕園田 茂／杉本 寛／今中 真之助／野口 修一

令和7年12月 定例会会期日程

12月定例会の日程は、市議会ホームページを御覧になるか、議会事務局までお問い合わせください。広報うと12月号にも掲載します。

編集後記

実りの秋を迎え、山ではたわにみかんが実り、田んぼでは稲刈り、海では海苔の準備が進み、収穫の季節となりました。しかし今年の夏は暑かった。体温より高い気温では人間の営みがおかしくなると感じてしまいます。

国では、自民党総裁選挙が終わり、高市新総裁が誕生しました。近年の増税による負担増に加え、3000品目にわたる食品値上げ、また新米価格も高騰しており、物価高による国民の暮らしは大変厳しくなっております。本号が出るころには新総理大臣が決定しているかと思いますが、新しく政権を担う人には何よりも国民の生活を考えた政策を行っていただきたいものです。

今年もあとわずか、大きな災害がないように願うばかりです。市民の皆様の平穏を祈り結びとします。

広報委員

委員長／今中 真之助 筆頭副委員長／中口 俊宏
副委員長／園田 茂 佐美三 洋
委員／榎崎 政治 西田 和徳 浦本 晴美
中野 洋一 杉本 寛 土黒 功司

議会を傍聴しませんか

市議会では市民の皆さんの生活に密着した問題が審議されています。身近な市政を知るために、是非一度傍聴してみませんか。

- ◇本会議の傍聴席の定員は50人です。
- ◇委員会の傍聴席の定員は5人です。内容等により傍聴を制限する場合がありますので御了承ください。
- ◇原則として、本会議、委員会は午前10時開会ですが、議事の都合で変更する場合があります。
- ◇傍聴の際は、注意事項をお守りください。
- ◇本会議の様子は、インターネットでもご覧いただけます。



市議会からのお知らせ

市議会のホームページで、本会議（定例会・臨時会）の会議録を公開しています。

【アドレス】<https://www.city.uto.lg.jp/>

本会本会議の会議録（冊子）は、市情報公開コーナー、市立図書館で閲覧できます。

なお、令和7年9月定例会の会議録は、令和7年12月定例会以降に閲覧可能です。

【お問合せ】市議会事務局 0964-22-1111 内線234

